

## おもいやり

福島伸悦

最近、とてもすがすがしい気持ちになる場面がいくつかありました。それは、日帰り温泉の脱衣場のトイレでのお話です。私が入る時には、履物が無造作になっていたため後ろ向きになって履きましたが、子供連れのお父さんと息子が用をすまし、出ていく時に若いお父さんが息子に履物をそろえるように言っていたことです。次の人がスムーズに履くことが出来るように履物をそろえて出ていくことは人を思いやる大事なことです。

それから、サウナでのことです。皆、汗をいっぱいかき、その汗が体を伝わって坐っているところにしたり落ちます。サウナから出ていく人、皆が自分の座っていた汗の落ちた場所を丁寧に拭いていくのです。最初に出ていった人がやったからかもしれませんが、とてもいい光景でした。次に入る人が、気持ちよく座れるようにしておくという事は、マナーとはいえ実践することは難しいことだと思います。

もうひとつ。洗面所での出来事。水を使ったあと周りに飛び散った水を拭いていました。次に使う人は、水が飛び散っていたり、髪の毛がついていたりしたら何となく嫌なものです。ともかく、後の人が気持ちよく使っていただくように、配慮したその行動は称賛されるべきです。

サッカーの応援団の人たちが、試合が終わった後ビニール袋にゴミを拾っている姿も素晴らしい事で、日本人の人を思いやる気持ちが若い人たちにも伝えられていることに感動です。

思いを形にしていくこと、そして実践していくことの大事さを改めて考えさせられました。